

しんじょう

11
2004

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.563

ISO14001

14年7月認証取得



秋の収穫体験(10月23日~28日/体験農園)

秋、満喫。……………2
国民年金……………4
広域組合決算……………6
「折下賞」受賞……………8
江戸だより/いきいき新庄人……………9
しんじょう見聞録……………10
11月のお知らせ……………12
豊かな心をはぐくむ……………14



新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

秋、満喫。

秋本番を迎え、芸術・文化に親しみ、実りの季節を楽しむ催しが各地で開催されました。第四十回を迎えた新庄市芸術祭は九月から始まり十二月まで、演劇や踊りなど多彩な催しが開催されます。

第40回 新庄市芸術祭 燦さん展「濱崎道子ふるさとを想う」書展

10月2日～7日／ゆめりあ 花と緑の交流広場



大字揮毫(10月2日／ゆめりあ)

国内外で活躍する新庄市出身の書道家・濱崎道子さんの作品展が、新庄市では初めて開催されました。今回は、昭和三十三年日新中学校卒業生の会である「燦燦会」が企画・運営したものの。濱崎さんは、「現代日本美術展パリ展」や「第三回世界フォーラム2003」など海外や国内で数多くの個展・大字揮毫を行っています。初日と二日目に行われた大字揮毫では、大きなかけ声とともに巨大な「夢」「愛」の字を書き上げると、会場に集まった観衆からは感嘆の声が上がりました。

県内五十校から延べ六百人の部員が参加して、県高校総合文化祭が開催されました。合唱・演劇などの多彩なステージ、美術・工芸・書道などの展示が行われ、目玉の活動の成果をアピールしました。

第28回 山形県高等学校総合文化祭

10月7日～9日／市民文化会館、市民プラザなど



最上地区三校合同演奏(市民文化会館)



美術・工芸の展示(すぽーていあ)



▲民話茶屋「柳」



▲民話茶屋「炉」

豊かに語りました。

昨年国民文化祭を記念して開催された「秋語り」。今回のテーマは「こども語りの魅力」。市内四カ所の民話茶屋と国指定重要文化財・旧矢作家住宅で、民話クラブの小学生三十七人と新庄民話の会会員が「カワウソとキツネ」「ほら吹きわらし」「のど焼け団子山」などの民話を表現力豊かに語りました。

第四十回新庄市芸術祭
みちのく「秋語り」
民話まつり

10月16日／民話茶屋、旧矢作家住宅

実りの秋



多くの人々にぎわった「刈り上げ市」

最上の産業と文化の祭典 もがみ大産業まつり

10月9日～10日／ゆめりあ、駅東口広場



ゆめりあ内では「匠・クラフト展」で新庄亀綾織の実演などが行われ、空手演武やキャラクターショーに人気が集まりました。

か むてん公園では、「秋の花フェスタ・コスモスまつり」が「花と緑のまちづくり市民会議」の主催で開催されました。「かむてん親子ランド」「かむてん公園空中散歩」「花緑市場」など多彩な催しに多くの家族連れでにぎわいました。

最 上地域の農産物・加工品などの特産品を一同に集めた「もがみ大産業まつり」が開催されました。ゆめりあ北口では、「刈り上げ市」に新鮮な野菜・果樹・キノコ・農産加工品など各市町村自慢の特産品が勢ぞろい。地元産の早生そばを使ったそば打ちも好評でした。



秋の花フェスタ コスモスまつり

10月9日～10日／かむてん公園



▲旧矢作家住宅



▲民話茶屋「松」



▲民話茶屋「萩」

国民年金は生活を支えます

国民年金は明るく豊かな老後を送るために
また、いつ起こるかわからない万一の場合に備え
国民みんなで支え合う制度です。

11月は
「国民年金制度推進月間」です



ネッキーくん

老齢基礎年金	障害基礎年金	遺族基礎年金
<p>～65歳になったとき～</p> <p>●年額 794,500円(満額) (月額 66,208円)</p> <p>20歳から60歳まで40年間 全て保険料を納めた場合</p> <p>65歳から生涯にわたり受けられます。 納付期間が40年に満たない場合 でも、保険料免除期間を含めて25 年以上保険料を納めていれば、期 間に応じて年金を受けることがで きます。</p>	<p>～病気やけがで 障害者になったら～</p> <p>●年額 1級 993,100円 (月額 82,758円) 2級 794,500円 (月額 66,208円)</p> <p>年金額は障害の程度により異なり ます。扶養されている子がある場 合は加算があります。20歳前の障 害でも一定の条件で20歳から年 金を受けられます。</p>	<p>～もしも夫に先立たれたら～</p> <p>●年額 1,023,100円 (月額 85,258円)</p> <p>妻子が受けるとき ～子が1人の場合～</p> <p>国民年金に加入している人が亡く なったとき、その人に生計を維持さ れていた子がいる妻または子が受 けることができます。子が18歳に なった日以後の3月末まで支給さ れます。</p>

安全・確実な制度のしくみ

国民年金は、日本に住む二十歳以上六十歳未満のだけれどもが加入しなければならぬ社会保障制度で生涯にわたり基礎年金が支給される制度です。老後の生活や、病気・けがにより働けなくなり収入を得ることが困難になったときに、互いに支え合うことを目的としています。

国民年金には、老後に受ける老齢基礎年金、病気やけがで障害になったときに受ける障害基礎年金、働き手を失ったときに残された配偶者や子どもが受ける遺族基礎年金の三つの基礎年金があります。

国が運営し、基礎年金受給額の三分の一は国税によりまかなわれています。個人年金や貯蓄などとは異なり、受給額は賃金や物価に応じスライドするので、長期的な経済の変動で貨幣価値が変わっても年金の実質的な価値は守られ、老後の生活も安心です。

老後を支えています

平均寿命が伸び長寿社会化していく中で、核家族化と少子化の進行により家族間で扶養し合うこと

国民年金 Q&A

Q 大学生の間は国民年金の保険料を納めなくてもいいですか？

A 二十歳以後保険料を未納にしておくと、老齢基礎年金が満額受け取れないだけでなく、万一障害や死亡という事故が起きても、障害年金や遺族年金を受けられない場合があります。

必ず加入し、保険料は納めましょう。学生本人の前年の所得が六十八万以下の場合、保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

Q 夫は厚生年金に加入しています。わたし(扶養されている妻)第3号被保険者は保険料を納めなくても年金がもらえますか？

A 保険料を納める必要はありません。第3号被保険者の保険料は、配偶者の加入する厚生年金・共済組合が全額負担することになっています。夫婦どちらかが就職したり退職した場合は、配偶者が勤務する事業所に届け出しましょう。

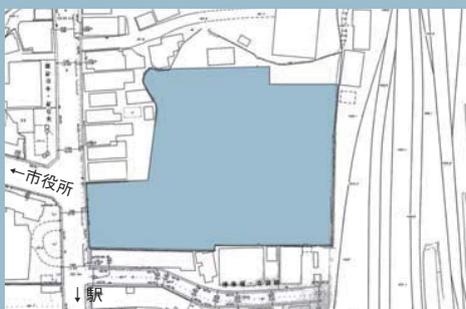
Q 二十五年間保険料を納め、年金を受ける資格を得ました。もう保険料を納めなくてもよいですか？

A たとえ年金を受ける資格がある人でも、六十歳になる前

市有地を売ります

①住吉町／旧日本たばこ産業跡地

- 所在地 新庄市住吉町1,051-2
(都市計画区域内／商業地域)
- 地目 宅地 ●面積 約5,611㎡
- 価格 1億5,375万円



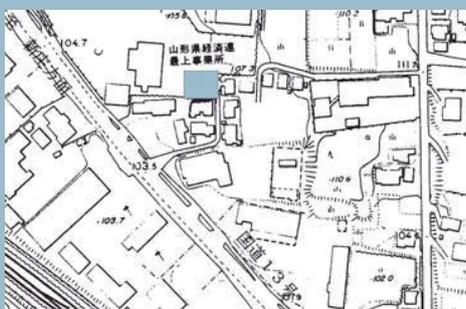
②沼田町用地

- 所在地 新庄市沼田町27-1外1筆
(都市計画区域内／第一種住居地域)
- 地目 宅地 ●面積 202.81㎡
- 価格 1,144万円



③鳥越用地

- 所在地 新庄市大字鳥越字南沢山神沢2080-78(都市計画区域外)
- 地目 宅地 ●面積 234.89㎡
- 価格 234.9万円



■一次締め切り

①、③＝12月10日(金) ②＝11月24日(水)

■申込方法 財政課にある申込用紙で

◎詳しくは、財政課へ。☎内線236

保険料(月額) 13,300円

16年4月～17年3月
納付は便利な口座振替で!

こんなときは必ず届け出を!

事 由	届出先
20歳になったとき	第1号被保険者＝市役所市民課 第3号被保険者＝配偶者の勤務先
会社を退社したとき	市役所市民課
結婚や退職等で 配偶者の扶養になったとき	配偶者の勤務先
配偶者の扶養からはずれたとき	市役所市民課
年金手帳をなくしたとき	第1号被保険者＝市役所市民課 第2号被保険者＝勤務先 第3号被保険者＝社会保険事務所
口座振替を開始、変更、停止するとき	銀行・郵便局・農協などの金融機関
保険料を納めるのが困難なとき	市役所市民課

※第1号被保険者＝農林漁業・商業など自営業の人、その配偶者、学生、無職の人
第2号被保険者＝会社員、公務員など厚生年金や共済組合の加入者
第3号被保険者＝厚生年金や共済組合の加入者に扶養されている配偶者

が難しくなっていく状況にあります。また、給与所得世帯の増加により定年後の継続した収入がなくなり、公的年金を受けずに個人の預貯金や家族の支えなどの自助努力だけでは、老後の安定した生活設計を行うことがとても難しくなっています。

現在、六十五歳以上の高齢者がいる世帯の九十六・七%が公的年金や恩給を受給し、高齢者のみの世帯では六割以上がその収入を公的年金や恩給のみに頼っています。

公的年金は老後の生活を支える大切な制度です。年金を受給している世代だけでなく、保険料を納めている皆さんが正しく理解し、この制度を支えていきましょう。

◎詳しくは、市民課国民年金担当
☎内線133・134、新庄社会保険事務所☎222050へ。

月まで保険料を納める義務があります。また、満額の老齢基礎年金を受けるには、四十年間、保険料を納めなければなりません。

納めた期間と免除期間を合わせても二十二年で受給資格がありません。何かよい方法は?

老齢基礎年金を受けるためには、二十五年の資格期間が必要です。不足している期間が五年以内なら、六十歳から任意加入して保険料を納めれば老齢基礎年金は受けられます。昭和三十年四月一日以前に生まれた人は、七十歳まで任意加入できます。

最上広域市町村圏事務組合 15年度 決算から

最上地域の8市町村で共同運営している最上広域市町村圏事務組合。
消防や救急、ごみ処理など、わたしたちの生活に深くかかわる重要な事業を行っています。
今回は、事務組合の15年度決算の内容と、市の行財政改革との関連などについてお知らせします。

◆経費削減に努め 前年比二十六%の減

広域組合の財政は、構成する八市町村の分担金と県支出金などによりまかなわれています。十月の組合議会で、広域組合の十五年度決算が承認されました。

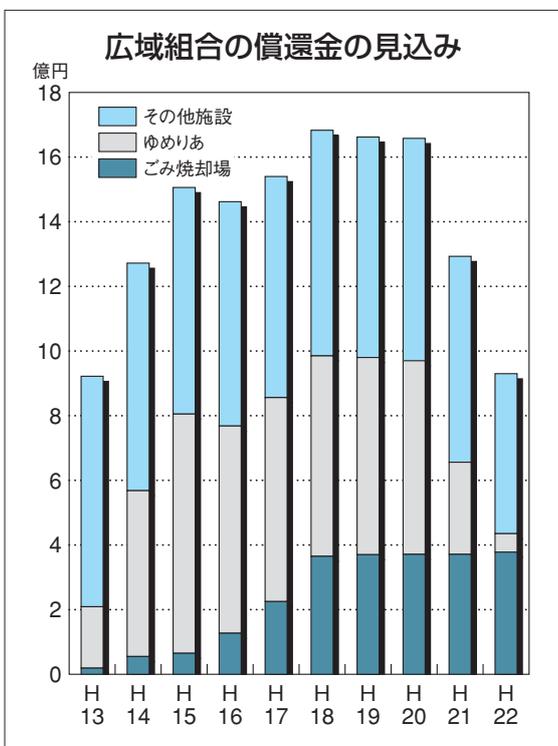
歳出額は、前年度に比べ十四億千七百万円の減となっていますが、これは、新しいごみ焼却施設「エコプラザもがみ」の整備完了と、経費削減に努めた結果です。

今後、広域組合は、構成市町村とともに行財政改革に取り組みていきます。

◆市財政再建のカギ 広域公債費の負担軽減

新庄市の広域組合への分担金は約十四億円。市の一般会計歳出額の約一割を占めます。

広域組合の「ゆめりあ」や「エコプラザもがみ」などの建設償還金（借金の返済）は、広域組合の歳出の三十七%を占め、市にとって重い負担となっています。市は、十七年度から二十年度にわたる償還のヤマを少しでも後年にずらし、当面の重い負担を軽減することを重要な財政再建策と位置づけ取り組んでいます。



※17年度から20年度までは、償還金が15億円を超える大きなヤマとなっています。21年度以降は「ゆめりあ」分の償還が減り市の負担も減っていきます。

市民の目で 行政評価

広報十月号で行政評価の結果をお知らせしました。市が行う内部評価に「市民がどんな関わり方ができるか」を探るため、行政改革市民委員会が市民の目で見た事業評価に挑戦しました。

対象は「公園管理事業」と「花のまちづくり推進事業」。担当課の説明を受け、市内五カ所にある都市公園の現場調査を行い市民委員会として評価しました。

結果は、市の内部評価に比べ厳しいものとなり、「規模の小さい公園は地域に管理をお願いしてはどうか」などの提案がありました。市民委員会は、行政評価について今後さらに検討を重ね、今年中に市長に提言を提出する予定です。

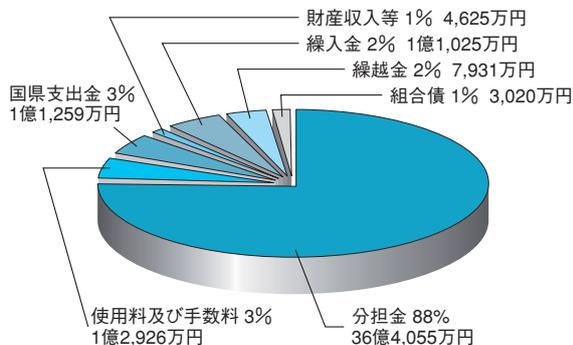


▲市民委員会が公園管理を評価
(10月8日/新庄中核工業団地福田緑地)

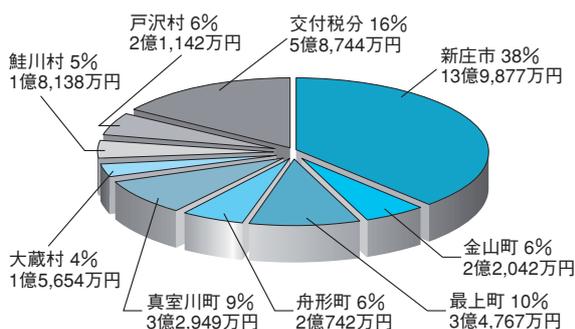
一般会計 歳入 総額

41億4,841万円

前年度比 25.7%減



市町村分担金の内訳



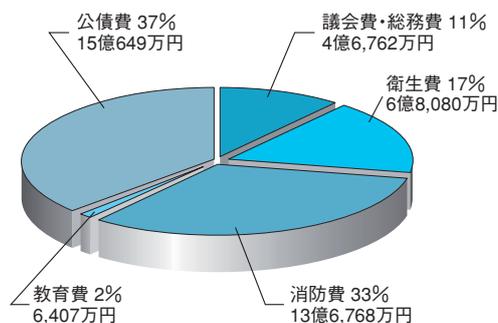
分担金以外の主な歳入

- 使用料及び手数料＝1億2,926万円
 広域交流センター(ゆめりあ)使用料/2,128万円
 ごみ処理手数料/9,900万円など
- 県支出金＝1億623万円
 広域交流拠点施設費補助金/1億円など
- 財産収入＝2,754万円
 物品売払収入(リサイクル物品等)/2,453万円など

一般会計 歳出 総額

40億8,666万円

前年度比 25.8%減



一般会計の主な事業

広域交流センター(ゆめりあ)運営事業	8億4,758万円
エコプラザもがみ(ごみ焼却施設)運営事業	3億2,303万円
リサイクルプラザもがみ運営事業	5億286万円
もがみクリーンセンター(し尿処理施設)運営事業	4億6,374万円
最上衛生事業所(し尿処理施設)運営事業	8,984万円
消防・救急業務運営事業	14億1,935万円
教育研究センター運営事業	6,407万円

ふるさと市町村圏事業特別会計の主な事業

少年少女沖縄派遣交流事業	777万円
もがみ大産業まつり開催事業	491万円

※今年度から「広報もがみ広域」を廃止し、広域組合の予算と決算は市町村の広報に掲載しています。

◎詳しくは、最上広域市町村圏事務組合総務課へ。

☎22-2674

親しみある市役所 づくりに向けて

七月から八月にかけて実施した「市役所さわやか運動お客さまアンケート」の中に、新庄市に転入してきた方から「今までで新庄市役所の対応がいちばん悪い」というご意見がありました。

そこで、改善を図るため、他市などから転入した市民と市職員の懇談会を開催しました。

【懇談会での意見から】

- 新庄の人は聞いたことしか答えてくれない。質問ではなく相談をしてきたことをくみ取ってほしい
- 転入してきていちばん苦労したのは言葉。市役所では標準語で応対してくれたのでホッとした
- 職員を民間企業に研修に出してサービスの心を身につけさせてはどうか

今後も改善を図っていきます。お気づきの点がありましたらいつでもご意見をお寄せください。

◎ 詳しくは、総務課行政改革推進室へ。
 ☎ 内線 215・218

メール
 soumu@city.shinjo.yamagata.jp

最上公園整備などに尽力された小松正男さん

全国表彰「折下賞」受賞



▲最上公園「心字池」

市の公園整備などに大きく貢献されてきた小松正男さん（若葉町）が、第二十五回公園緑地折下功労賞を受賞されました。

この賞は、戦前戦後に、わが国の都市計画・公園緑地・国立公園事業などの先駆者として活躍した折下吉延氏の功績を後世に伝えようと昭和四十三年に設けられたもの。今年、全国で五人の方が表彰されました。県内では通算二人目となる受賞です。

折下家は、代々新庄藩主戸沢氏家臣の家系。折下吉延氏は明治四十一年に宮内省に勤務し、明治神宮外苑の造営や横浜・山下公園の新設などに手腕を發揮しました。大正十一年には当時の新庄町の招きに応じ新庄を訪れ、昭和二年から五年まで最上公園「心字池」の修景工事を監修しました。

小松さんは、昭和二十五年から二十五年間、市職員として建設土木分野に一貫して携わり、最上公



▲草木塔を建立（15年9月／最上公園）

園・東山総合運動公園・鳥越八幡公園の三大公園の整備に尽力し、市の公園緑地の基礎を築きました。市を退職後も建設会社社長などを歴任。平成十二年には東山公園に、十五年には最上公園に草木塔を私費で建立し、自然や草木に対する感謝の気持ちを表しています。



▲受賞を喜ぶ小松さん（左／10月15日）

●健康メモ●

お口の体操で肺炎予防

肺炎による死亡者の90%以上が65歳以上の高齢者です。高齢期では飲み込むなどの機能が低下するため、食、食べ物や口の中の細菌が気管に入り、誤えん性肺炎が起りやすくなります。

症状としては、食べた後にむせる、咳やたんが出る、食事に時間がかかる、声が変わる、発熱を繰り返す、などがあります。

予防法は、口の中を清潔にして細菌を減らす、食べ物や飲み込むときに少し前かがみにあごを引き飲み込むことを意識する、呼吸機能と飲み込む力を衰えさせないよう体操する、などです。

【体操のしかた】

- ①首を前後左右に曲げたり、回したりする
- ②両肩をすぼめるようにあげ、すっと力をぬく、肩を回す
- ③口を大きく開けすばやく閉じる、「イー」と口を横に引く、「ウー」と唇をとがらせる
- ④舌を大きく出したり、引っ込めたりする、口のまわりをなめるように舌を回す
- ⑤口からゆっくりと息をはき、鼻からゆっくり大きく息を吸い止める、息を止めたまま唾液を飲み込み、口から勢いよく息をはく、咳をする

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

みやこの話題—その2—

◆新庄藩江戸家老 佐藤 武さん
(前二信建設工業(株)顧問)

前回は東京での二〇〇三年の高層ビルラッシュの報告をしました。が、これらのビルは現在、その完成とともに新たな商業施設として特徴ある新しい魅力をもったショッピングモールとなっています。六本木ヒルズ、汐留ジオサイト、東京駅丸の内オアゾなど、以前にはなかった場所としてにぎわっています。

日本橋地区でも再開発が進行しており、二、三年先にはどうなるものかといなる期待とともにいささかの心配があります。またこれらに並行して都心区部では、住宅用高層マンションが数多く建設され大変な人気になっています。設備もよく、セキュリティも万全で当然値段も高いのですが、その購入層は都心



回帰を望んで育つ世代の人たちが多いとのこ

とです。郊外の一戸建て住宅での子育てを終え、住居を処分して移住して来るケースです。都心に近く通勤が楽なうえに文化施設や買い物などが楽しめること、眺望が良いこと、特に優良な医療施設に近いことがその魅力になっているようです。少子高齢化を反映した「みやこ」らしい現象です。

話は変わりますが、東京の区部には四つの都立霊園(青山、雑司ヶ谷、染井、谷中)があり、明治七年の開設で長い歴史を誇っています。そのうち青山霊園は、桜並木が特に有名で公園墓地になっています。この墓地で昨年から再整備した墓地の再貸与の募集がありました。何せこの四十年間再貸与は行っていないので、わが家では墓所が都内にはなく墓参りには時間もかかるので昨年に続き応募してみました。今年の募集五十区画に対して二十二倍強の競争率で、抽選の結果は補欠にもひっかからずに見事落選でした。吉田茂や斉藤茂吉と一緒に眠る夢は果たせそうにありません。このように東京での墓所事情は、深刻なものがあります。

いきいき 新庄人

一緒に汗を流して がんばりたい

高橋真理子さん(城西町)

「わたしは、生産者と消費者のかけ橋、パイプ役です」と話す高橋さんは、「産直まゆの郷」にオープン当時から販売係として勤めています。「産直まゆの郷」はエコロジーガーデン内で地産地消の発信地として市内の農家が生産した作物や加工品を提供しています。

「わたしにとって、お客さんと同様に生産・出荷している農家の人たちがとても大切です。「まゆの郷」に野菜などを出すことで生産者に元気になってほしいと思います。生産者にとって、自分が苦労して作ったものが身近なところで売れば、励みになり、張り合いになると思います。

「まゆの郷」では家族にも安心して食べさせられるものを提供するよう心がけています。農薬などの危険性を一番良く知っているのは生産者本人で、地元で作っている人の顔が見えるからこそより安心できると思います。

この仕事で一番苦労するのは値段のつけ方です。スーパーや新聞などで市場価格を毎日チェックしながら、ちょうどいい金額を生産者と一緒に考えています。安いことは消費者にとってよいかもしれませんが、農業生産に対

する正当な対価と考えると、妥当な値段を維持したいとも思っています。わたしは、「まゆの郷」はお客さんから育ててもらっていると思っています。お客さんとの何気ない会話の中に、望む品物や値段のことなど気づかない点がたくさんあります。「まゆの郷」は、いいお客さんといい生産者が集まって成り立っているのです」と語ります。

「今、わたしが一番夢中になっているのは、ソフトボールです。学生時代にクラブ活動でずっとやってきて、しばらくしていなかったのですが、娘が中学生のときに部活動のコーチを引き受けてからずっと続けています。自分の子も他人の子も関係なく、同じ人として接したいとわたしは思っています。大人は子どもより偉くなんてはいけません。一緒に手をつなぎ、汗を流し、動き回りながらがんばりたい。そして、子どもから本気で自分につき合ってくれた大人がいることをわかってもらいたい、と思っています」と高橋さんは明るく熱心に語ってくれました。



▲「産直まゆの郷」にて

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲現代俳句協会名誉会長・金子兜太氏を選人に招いた国際俳句大会(10月16日/本合海～最上川)



▲地域づくりフォーラム「ここを変えたい! これからの新庄・最上!!」(10月22日/ゆめりあ)



▲明倫中学生徒が森づくり体験 (10月6日/陣峰市民の森)



▲日新中学生徒がまちを清掃 (10月20日/末広地下道)



▲こころのフェスティバル作品展 (10月18日～20日/ゆめりあ)



▲まちなか活性化シンポジウム (10月24日/ゆめりあ)

気分は松尾芭蕉

芭蕉生誕360年を記念する「第4回芭蕉乗船の地国際俳句大会」が本合海河川敷で開催されました。これは、「本合海エコロジー」が中心となり、地域おこしの一環として毎年行っているもの。全国からの愛好者が最上川を舟下りしながら、それぞれの思いを詠み上げました。

地域づくりフォーラム

これからの新庄・最上について熱く語ろうと、地元6校代表の高校生と若手経済人のフォーラムが開かれました。未来研究会(最上総合支庁)と新庄青年会議所が企画したもの。高校生からは「バイオマスの新技術で地域活性化」「花や巨木のPRやグリーンツーリズムで観光振興」「希望する職種があれば若者が増える」「バリアフリーの街づくり」など地域を良くしようという提案があり意見交換しました。

まちをきれいに

日新中学校の1年生137人が新庄駅や中心商店街、通学路、升形川など市内20カ所で清掃活動を行いました。総合的な学習の時間に、自分たちが住む地域に何ができるかを考え行動しました。活動後は、それぞれの感想や今後の目標などをまとめた新聞を作成しました。

小さな町の大きな取り組み

大分県や徳島県などで个性的な取り組みを行い成功している方々から地域活性化のヒントを学ぼうと「まちなか活性化シンポジウム」を開催しました。新庄市からはバイオマスと市民の取り組みを紹介。パネルディスカッションでは「小さな町でも交流人口が増えれば栄える」「地元の良さを見落とさず、ちょっとした付加価値でブランドにできる」などパネラーからは事例紹介があり、自分の地域に誇りを持つ大切さが呼びかけられました。



スポーツと食欲の秋

タイムはあまり気にせず気軽に汗をかいて楽しんでもらおうと「新庄いものこマラソン」を開催しました。山屋地区で7キロと3キロ、2つのコースに分かれ、小学生から一般まで83人が参加。それぞれのペースで完走した後は、「いものこ汁」などの秋の味覚を楽しみました。



▲中高生など83人が参加した「新庄いものこマラソン」(10月11日/山屋)

栄光をたたえて

■最上地区中学校新人体育大会

【陸上競技】男子/個人2年100m③村岡広輝(新庄)2年200m③伊藤達郎(新庄)共通800m③今田敏文(明倫)1年1500m①斎藤廉(明倫)②田中亮(新庄)共通走幅跳③中嶋裕信(八向)女子/団体①日新/個人1年100m②芦野智恵(日新)2年100m①小森千奈津(日新)②斉藤麻里(日新)1年200m②渡辺魅久(明倫)2年200m①斉藤麻里(日新)②小森千奈津(日新)③佐藤めぐみ(八向)共通800m②外崎恵美(日新)共通1500m②奥山歩(萩野)③阿部加奈(明倫)共通走幅跳①成澤志歩(日新)共通走高跳③奥山真美(萩野)共通400mリレー①日新(下山留未・小森千奈津・小野史葉・斉藤麻里)②八向(越後菖香・斎藤なつき・芳賀香織・佐藤めぐみ)

■第42回新庄ロードレース大会

男子/小学3年生②中川慎(萩野)4年生③小林駿(沼田)5年生②安食尚人(萩野)6年生①斎藤真也(日新)中学生③柿崎雄斗(日新)一般②齊藤伴和(新庄陸協)女子/小学3年生②小野未羽(萩野)4年生②小野菜倫(萩野)5年生①菅嶋彩香(泉田)③奥山莉菜(萩野)中学生②外崎恵美(日新)高校生②外崎理紗(新庄南)

■第12回新庄市スポーツ・レクリエーション祭(1位のみ掲載)

グラウンドゴルフ/安達潔(桧町)ターゲットバードゴルフ/男子松本宣行(沼田町)女子三澤睦美(大手町)バウンドテニス/柴田久雄(沼田町)ラージボール卓球/1部男子今田勝(関屋)同女子大友恭子(沼田町)2部男子佐藤誠(千門町)同女子秋葉久美子(末広町)ペタンク/小野邦太郎(上山屋)高橋悦子(大手町)板垣真由美(川西町)

■2004新庄いものこマラソン

Aコース(7km)①柴田和行(新庄鉄人会)②齋藤直樹(明倫中)③古澤吉彦(光生園)Bコース(3km)①大泉雄暉(新庄中)②柏倉大修(新庄中)③金田淳(新庄中)



▲肘折系こけし工人・鈴木征一さんの初期からのこけしが揃う「こけし文化考」(12月27日まで/歴史センター)



▲SL鉄道写真を展示(10月14日~/新庄駅ホーム)



▲森林土木建設業協会新庄最上支部が桜の苗木45本を植樹(10月26日/角沢地区)

藤直樹(明倫中)③古澤吉彦(光生園)Bコース(3km)①大泉雄暉(新庄中)②柏倉大修(新庄中)③金田淳(新庄中)

■第52回統計グラフ全国コンクール奨励賞/高橋裕馬・古瀬純大・池田大翔・関口有紀・中島華湖(日新小)

■山形県統計グラフコンクール県統計協会長賞/高橋裕馬・古瀬純大・池田大翔・関口有紀・中島華湖(日新小)入選/秋保伸弥・柿崎龍

聖・早坂諒・土田雅彦・小野貴佳(日新小)荒木夏樹・国分唯真・伊藤希恵・間万由子(日新小)佳作/越後健矢・安食拓海・小松原和矩・吉田健(日新小)学校賞(特別賞)/日新小

■花の観光地づくり大賞(主催/日本観光協会)

努力賞・花の心賞/あじさいを育てる会



ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

募集

ちびっこ寺子屋

▼対象 最上地域の小学生(30人)
▼とき 11月27日(土)午前9時30分～正午

▼集合 エコロジーガーデン正面
▼内容 環境問題やバイオマスについて「くるくるまわるリサイクル探検」▼持ち物筆記用具 ▼参加費 無料
▼申し込み 電話で

問 新庄市エコロジーガーデン
☎29-2122

マmanaビ商店街ツアー

▼対象 子育て中の人(先着各10人)
▼とき ①11月24日(水)

②25日(木)午前10時～午後1時
▼集合 街角託児室HOT☆ほっとスペース(南本町)

▼内容 商店街の魅力体験
▼参加費 850円(昼食代)
▼託児 無料

▼申し込み 11月19日(金)まで
※マmanaビ編集スタッフ募集中
問 新庄TCM ☎28-8319

第4回 最上オープンカレッジ

▼とき 11月27日(土)午後2時～5時
▼ところ 市民プラザ

▼内容 「循環型農業と自立した地域社会を考える」講師/茨城大学農学部教授・中島紀一氏、東北農業研究センター室長・山守誠氏

▼受講料 無料
▼申し込み 11月25日(木)まで
問 NPOもがみ・井上 ☎52-2355

第9回山形県産学官 研究シンポジウム

▼とき 11月16日(火)午後1時～4時50分
▼ところ 新庄ヒューランドホテル

▼テーマ 「最上の自然を活かす」
▼内容 講演、パネルディスカッション/最上の自然などを活かした産業展開のあり方、産・学・官の連携、バイオマスバレー構想など

▼入場料 無料
※事前に申し込みが必要です
問 山形大学地域共同研究センター ☎0238-26-3030

自衛隊生徒

▼受験資格 15歳以上17歳未満の男子(17年4月1日現在)
▼受付期間 17年1月11日(火)まで

食品トレーリサイクル シンポジウム

～社会福祉施設による資源循環～

- とき 11月25日(木)午後1時～
- ところ 市民プラザ大ホール
- 内容 講演/地球・人間環境フォーラム 専務理事・平野喬氏、パネルディスカッション、施設見学
- 参加費 1,000円(資料代)
- 当日参加もできます。詳しくは、企画調整課企画政策室へ。 ☎内線242

生活調査から見た 雪国のくらしのあり方

～第25回市民雪セミナー～

- とき 11月21日(日)午後1時30分～3時30分
- ところ 雪の里情報館
- 講師 東北工業大学教授・沼野夏生氏
- 受講料 500円(事前に申し込みが必要)

雪の里情報館開館 満7周年記念事業

- とき 11月25日(木)午前9時30分～11時30分
- ところ 雪の里情報館
- 内容 記念式典、シンポジウム、アトラクション ○入場料 無料
- いずれも詳しくは、雪の里情報館へ。 ☎22-7891

災害義援金の受付

- 新潟県中越地震/12月28日(火)まで(市役所市民相談室でも受け付けています)
- 三重県9・29豪雨災害被災者・愛媛県台風21号被災者・香川県台風23号による豪雨/11月30日(火)まで
- 宮崎県台風23号被害/11月24日(火)まで
- ところ 新庄市社会福祉協議会内 日赤新庄市地区(大手会館内)
- 詳しくは、日赤新庄市地区へ。 ☎22-5797



▲最上広域消防本部の救援活動(新潟県中越地震)

お知らせ

▼1次試験 1月15日(土)
問 自衛隊新庄募集事務所 ☎22-5057

総合型地域スポーツ クラブ市民説明会

新しい地域スポーツクラブ創設に向けた説明会です。

▼対象 どなたでも
▼とき 11月16日(火)午後6時～8時
▼ところ 市民プラザ
▼内容 クラブの考え方、役割、クラブ体験発表
※当日参加もできます。
問 生涯スポーツ課 ☎22-06801

こころの健康相談

▼とき 12月6日(月)午後1時

30分～4時
▼ところ 保健センター
▼内容 専門医師による個別相談
▼申し込み 12月2日(木)まで
問 健康課健康推進室 ☎内線513516

NPO・市民活動 相談会

活動や組織についての相談など何でもお受けします。
▼11月17日(水)午後1時～4時
▼エコロジーガーデン内NPOもがみ事務室
▼11月20日(土)午後1時～4時
▼語らい長屋(駅前通り)
問 NPOもがみ ☎29-2141

出張無料税務相談

▼とき 11月26日(金)午前10時～午後3時
▼ところ 市役所市民相談室分室
▼内容 所得税、消費税、相続税、資産の



観光カレンダー「新庄まつり」

- A2判7枚つづり500円
- 申し込み 11月30日(火)まで
- ◎新庄観光協会 ☎22-2340

11月のお・知

催し
など

木部タツ表情人形作品展

- とき 11月16日(火)～12月15日(水)
- ところ ゆめりあストリートギャラリー
- 内容 表情豊かな人形50点展示
- ◎詳しくは、ゆめりあへ。 ☎28-8888

菅原富喜写真展

- ～シリーズ「ふるさとの自然」～
- とき 11月20日(土)～24日(水)午前9時～午後6時
- ところ 市民プラザ
- 内容 念仏ヶ原(大蔵村)～修験者が歩いた月山信仰の道を辿る～
- ◎詳しくは、菅原へ。 ☎23-1611

最上地域男女共同参画講座

- とき 11月21日(日)午後0時30分～3時
- ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
- 内容 寸劇、ミニコンサート、講演「自分らしく生きる～一秒の重さ～」講師/日本テレビアナウンスカレッジ学長・石川牧子氏
- ※無料託児(要予約)と手話通訳あります
- ◎詳しくは、生涯学習課へ。 ☎内線462

第15回 かもしかおたのしみ会

- ～新庄市かもしかクラブ連合会結成20周年記念～
- とき 11月27日(土) 午前10時～午後0時30分
- ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
- 内容 記念式典、かもしかクラブ幼児による交通安全ステージ、バザー
- ◎詳しくは、環境課消防交通室へ。 ☎内線436

第2回 剣扇舞術発表会

- とき 12月4日(土)午後2時～4時
- ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
- ◎入場無料です。詳しくは、新庄剣詩舞愛好会・青木へ。 ☎25-2716

心ぼっかぼかコンサート

- ～須貝智郎 & AKEMIオンステージ～
- とき 12月4日(土)午後2時30分開演
- ところ 市民文化会館大ホール
- 入場料 中学生以上1,000円、3歳児～小学生300円
- ◎詳しくは、大手幼稚園・鳥越保育園周年事業実行委員会へ。 ☎22-1553

譲渡などの国税について

▼応対 仙台国税局税務相談室 酒田分室
☎内線143

不審なはがきに
ご注意を

最近、「全国公共住宅管理組合」という団体から、市営住宅へ抽選しないで入居できるという勧誘のはがきが出回っています。そのようなことは絶対にありませんので、もし不審なはがきを送られてきた場合は、はがきに書かれている電話番号には絶対に連絡しないでください。連絡することで相手に電話番号が知られてしまい、勧誘・詐欺などの被害にあう場合があります。

問 商工観光課商工・中心商店街地振興室
☎内線254

都市開発課まちづくり推進室

☎内線533

悪質な詐欺や訪問販売
などに注意を

悪質な訪問販売で消火器を無理やり買わされた、薬剤の交換をさせられたなどという被害が出ています。悪質な業者は、「消防署から来ました」「消火器の点検です」と消防署員や市職員を装ったり委託業者であるかのようにして訪問してきます。消火器の販売に市や消防署が関わることはありませんのでご注意ください。

問 環境課消防交通室

☎内線435・437

クレサラ110番

クレジット会社やサラ金か

らの借り入れなどで悩んでいる場合はご相談ください。

▼とき 11月27日(土)午前10時～午後3時

▼電話番号 023-635-8151～8154(4台)

▼応対 司法書士

▼相談料 無料

問 山形県青年司法書士協議会事務局・佐藤 ☎22-0352

市民映画劇場
「誰も知らない」

▼とき 11月27日(土)午前10時、午後2時

▼ところ 市民プラザ

▼前売券 一般1,200円、小学生・大学生・60歳以上1,000円

※無料託児あります(2日前まで予約が必要)

問 新庄専門店会 ☎22-6833

灯油の取扱いに注意

冬期間の暖房は、火災予防はもちろん、灯油の取扱いにも十分注意が必要です。多量の灯油が水路や側溝から河川に流出すれば、重大な環境汚染につながる場合があります。

○事故を未然に防ぐには
①タンクから他の容器に移しかえる際は、絶対目を離さない、②タンクのバルブの閉め忘れがないか確認する、③タンクや配管に亀裂や破損箇所がないかチェックする、④落雪箇所にタンクを設置しない、⑤定期的にタンクの残量を確認する

○多量に灯油をこぼしたときは
①タンクのバルブを閉める、②新聞紙や布を使い、敷地外や水路・側溝への流出を食い止める、③流量の少ない水路などに流出した場合は、雪や砂、毛布などでせきとめる
④関係機関にすぐ連絡する
◎詳しくは、最上広域消防本部 ☎22-7521、市環境課環境保全室 ☎内線432へ。

人権なんでも相談所

開催日	ところ
12月1日(水)	市役所市民相談室
12月6日(月)	八向地区公民館

- 時間 午前10時～午後3時
- 内容 いじめ、家族間のいざこざ、近所のトラブルなど
- 応対 人権擁護委員、法務局職員
- ◎詳しくは、市民課市民相談室へ。 ☎内線125

2005年版やまがた
県民手帳を販売します

- とき 11月24日(水)から
- ところ 市役所東庁舎1階情報統計室
- 価格 600円
- ◎詳しくは、企画調整課情報統計室へ。 ☎内線426

「豊かな心をはぐくむ」

——新しい時代への人づくり——

「地域の子どもは地域で育てる」をテーマに保護者と地域の人たちが協力して、学校週五日制に対応した子どもたちの居場所づくりに取り組んでいる様子を紹介します。

「たいけんスクール」

沼田・北辰小学区の児童を対象にした「たいけんスクール」が十一月に初めて実施されます。一回目のたいけんスクールは「ピザ作り・ジャンボしゃぼん玉体験」を予定しています。

わたしが保護者ボランティアに申し込んだ理由は、子どもと一緒に楽しめると思ったからです。モノより思い出を作ったからです。モチベーションも、また、家で一人ではできないことも、みんなの力を合わせれば、やってみたら良かった事がきつていきます。

またボランティアが少なく運営面では心細いのですが、初めて会う子ども同士でも一緒に遊べる、そんな力をつけさせたいと考えています。皆さんも「たいけんスクール」を通じて、子どもと一緒に楽しい時間・体験をともしにして共通の話題を広げてみませんか。

(沼田・北辰小保護者)

「北部三校まなびの環境づくり」

萩野・泉田・昭和小学校で「北部三校まなびの環境づくり」と称して「たいけんスクール」を実施してから今年で三年目になります。この地域では保護者が中心となって、子どもたちを育くもつとする活動が定着してきており、他の地域の見本になっています。

今年九月には「こんにやく作り」、十月には「ブーメラン作り」など多くの体験活動を行い、子どもたちにとくましく生きる力をつけさせるよう取り組んでいます。

「地域の子どもは地域で育てる」ため、学校と地区公民館と保護者が一体となって進めていることが続いている理由だと考えられます。今後も一層の相互理解と協力が必要と考えています。(教育委員会)

「たいけんスクール」

保護者ボランティア募集

家庭や地域で子どもと大人の結



▲こんにやく作り体験

びつきが低下していると言われていた中で、子どもたちに「生きる力」をつけさせ、豊かな心と人間性を育んでいくには、「地域の子どもは地域で育てる」ことを基本として、家庭と地域が一丸となってさまざまな活動に取り組んでいくことが大切です。そのためには、地域が主体となり、それぞれの特性に応じ、学校週五日制に対応した新たな取り組みを行っていくことが必要となります。

今後、地域の方々や保護者の協力により全小学校を対象にした「たいけんスクール」を実施していく予定です。やる気と思いやりのある方ならどなたでも歓迎します。子どもたちの居場所づくりを一緒にしませんか。

◎教育委員会生涯学習課

☎内線461

地名伝説

八向山と矢向神社

国道四十七号を庄内方面に向かい、本合海大橋を渡ると、右手に最上川によって削り取られた断崖が見える。白い岩肌の美しいこの山が八向山で、いわゆる「八向地区」の「八向」は、これにちなんでいると思われる。八向山は八向櫓とも呼ばれ、戦国時代には、難攻不落の山城でもあったが、由来はさらに古い。

日本武尊が蝦夷征伐にきた時、この地に住む蝦夷に矢を向けたら、蝦夷はかなわなれと思つて逃げ出した。この矢を射向けた山が「矢向山」→「矢向山」(後に「八向山」と呼ばれるようになった)という。また、日本武尊が逃げた蝦夷の酋長を追ってさらに矢を射たが、矢は外れて、山に突き刺さってしまった。その山を「矢はずれ山」→「矢筈山」(中腹に新庄温泉のある、戸沢村蔵岡との境の山)と呼ぶようになったという。

八向山の断崖中腹の木々の中に、小さな赤い祠が見えるが、これは日本武尊を祭神にする「矢向

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『マイライフ クリントンの回想』(上・下)

ビル・クリントン 著

全米で空前のベストセラー! 政治家への志を抱いた青春時代から大統領当選まで(上巻)、大國アメリカのリーダーとして内政外交に取り組んだ日々、スキャンダル渦中の苦悩、家族への思い(下巻)前大統領が今、すべてを率直に語った。



●今月のテーマ展示●

『図書館の貴重本』

当図書館所蔵の貴重な本を展示します。古書、絶版書など、もう手に入らない「お宝」本。おもしろい装丁や豪華な装丁の本、著者の直筆サイン入の本などなど。普段図書館の書架に出ていない貴重な本の展示です。ぜひご覧ください。

新着図書

- ▲よろつ春夏秋冬(あきない)中 …長野まゆみ
- ▲霊鬼頼朝 ……高橋 直樹
- ▲荒蝦夷 ……熊谷 達也
- ▲碁のうた、碁のころ ……秋山 賢司
- ▲幻覚 ……渡辺 淳一
- ▲月が昇るとき ……グラディス・ミッチェル
- ▲愛の群像(上・下) ……ノ・ヒギョン
- ▲億万ドルの舞台 ……シドニィ・シェルダン
- ▲假屋崎省吾の暮らしを彩る花スタイル ……假屋崎省吾
- ▲ゆめつげ ……島中 恵
- ▲間宮兄弟 ……江國 香織
- ▲最新版 全国「患者会」ガイド ……和田ちひろ
- ▲おはなしの日 ……安達 千夏
- ▲ブラック・リスト ……サラ・パレツキー
- ▲二十四時間 ……乃南 アサ
- ▲あの夏、風の街に消えた ……香納 諒一
- ▲庭の桜、隣の犬 ……角田 光代
- ▲オムツをはいたママ 一母との愛と格闘の日々 ……安藤 和津
- ▲風の組曲 ……阿刀田 高
- ▲全国美術館ガイド ……全国美術館会議
- ▲人間は考えるFになる ……土屋 賢二
- ▲新米副知事おたおた日記 ……大槻幸一郎
- ▲金毘羅 ……笙野 頼子
- ▲だまされることの責任 ……佐高 信
- ▲戦争と平和 一それでもイラク人を嫌になれない ……高遠菜穂子
- ▲ももこの70年代手帖 ……さくらももこ

もしもの災害に備えて

～市総合防災訓練～

十月二十三日、升形地区で市総合防災訓練を行いました。新庄盆地断層帯を震源とするマグニチュード七の直下型地震が発生。震度六強で建物は倒壊し、多数の市民が重軽傷を負い、電気・ガス・水道などのライフラインが被害を受け、各地で火災が発生したという想定です。地区住民や消防団など総勢六百五十人が参加し、消防団による一斉放水や升形小学校での児童・住民による避難訓練や初期消火訓練、県消防防災ヘリコプター「もがみ」による緊急物資搬送や重症者の救命運搬訓練など、実際さながらの訓練に参加

者は真剣に取り組みました。消火訓練をした参加者からは「初めて消火器を使いました。火を消そうとしたときはとてもドキドキしました。この経験はもしもの時に役立つと思います」と感想が聞かれました。同じ日に、新潟県中越地震が発生し多くの被害が出ました。残念ながら災害を防ぐことはできませんが、少しでも被害を少なくするため日ごろの備えが大



▲避難訓練



▲初期消火訓練

切です。家族一人ひとりの役割分担や非常持出品のチェック・入替え、非常時の連絡方法、避難場所の確認など、いざというときに家庭や職場でどのように対処したらよいかを話し合ってみましょう。

神社じんじや」である。歴史ある神社で、昔から、本合海地区の鎮守の宮であり、かつまた、最上川を上下する川舟の守護神として厚く信仰されてきた。記録では、平安時代の初めの貞観十六年(八七四)、政府から五位下の位を授けられており(『三代実録』)、また、室町時代の初めに書かれた『義経よしかね記』には、兄頼朝と対立し、北の方や弁慶を伴い平泉に向かう義経一行が、最上川をさかのぼり、「矢向やむけの大明神」(矢向神社)を伏し拝み、本合海で舟を降り、亀割山に向かったと記されている。(市史編さん室)

まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～

「駒宝」という呼び名を持つこの馬は、鞍馬競技を晴れの舞台とする馬である。普段は鳥越の牧舎で暮らしている。新庄まつりでは、数年前まで、伝統と格式を重んじる祭りの中心・神輿渡御行列で大切な役目を仰せつかった。今では、遠方の岩手県北上や遠野からやってくる馬たちが役目を務めている。

「駒宝」の大きく澄んだつぶらな瞳、身を寄せてくる人なつこさ・やさしさは、激しい力がぶつかり合う鞍馬のときはまったく違う、まことに穏やかな姿である。

来年の二百五十年祭、再び、まつりでの出番を夢見る「駒宝」。こよなく新庄まつりを愛するわたしたち同様、それなりの気どりで姿で一歩一歩を感じながら歩くのだろうか。

(絵と文 加藤良哉)



250年祭の出番を夢見るの図



はがせる容器を使った給食会 (10月27日/日新小学校)

10月の正解は「②約4割」でした。広報10月号を読んだ感想から紹介します。「わたしは今高校生ですが、将来、福祉の仕事がしたいと思っています。障害を持つ人の役に立ちたいと思うからです。市報を見て、障害者のことを考えている取り組みはすごいと思いました。今までは、母から“スーパーにトレー持って行って”と頼まれてもイヤだったけど、これからは協力しようと思います」

11月号では、5人に図書券をプレゼントします。

かむてん クイズ



さて問題です。国民年金の老齢基礎年金を受給するためには少なくとも何年間の納付が必要でしょう。①20年間、②25年間、③40年間/はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙を読んだの感想など」を書いて、〒996-8501新庄市企画調整課市民協働広報室あて、11月26日まで応募してください。

ファクス 22-0989/eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

表紙の写真

いっぱい とれたよ!

～収穫体験～

5年目を迎えた市民スキー場の体験農園で行われたサツマイモとダイコンの収穫体験。作物は、農園を管理している地元農家が子どもたちに秋の実りを楽しんでもらおうと毎年丹精こめて育てているもの。訪れた市内幼稚園・保育園の子どもたちは、秋の収穫に大喜びでした。



9月末現在の新庄人

41,353人 (41,505人)

女 21,537人 (21,595人)

男 19,816人 (19,910人)

世帯数 13,498世帯 (13,376世帯)

9月の異動

出生 32人 (28人)

死亡 28人 (33人)

転入 97人 (81人)

転出 113人 (88人)

※ () は1年前の住民基本台帳